森の会ニュース23

FOREST

MORINOKAI NEWS vol.23

2025年8月1日発行　編集・発行／森の仲間たち

INDEX

- 公開講座 講師のご紹介 …… 2
- 新任の先生からのメッセージ …… 3
- 会員だより …… 3
- 進路状況 …… 5
- 役員紹介 …… 6
- 2024年度会計報告 …… 6

2025年度 ホームカミングデイ企画

大学祭の期間にホームカミングデイが設けられ、午前は大学企画、午後は各学部企画が行われます。

森の会総会・昼食会

日　時　2025年**11月1日（土）** 12：30～13：30（受付12：00～）

12：30～13：00　昼食会

13：00～13：30　森の会総会

岐阜大学副学長 大藪 千穂 氏　祝辞

場　所　岐阜大学地域科学部棟　11講義室

岐阜市柳戸1-1

申込締切
10月10日（金）

昼食会会費　1,000円　当日受付にてお支払いください。

飲食代金の一部は森の会が負担いたします。

申込方法　メールでお申し込みください。e-mail：mori2001@t.gifu-u.ac.jp

申込の際に氏名、住所、所属ゼミ、電話番号、森の会ニュース発送封筒宛名シールの右下記載の番号をご明記ください。申込後に確認返信メールをお送りします。

今回残念ながらご欠席の方も、是非とも皆様への近況報告をお寄せください。

地域科学部　公開講座

講師：近藤（こんどう） 真庸（まさのぶ） 氏（岐阜大学名誉教授）

日　時　2025年**11月1日（土）** 13：30～16：00

13：30～15：00　公開講座

教育への〈想像力〉

「教育保健学」というメガネ通して、

子どもの教育現実を読み解く!

15：00～16：00　懇親会

13：00～16：00　研究紹介：パネル・著書展示

場　所　岐阜大学地域科学部棟　101講義室

申込不要、参加費無料

問い合わせ先：Tel:058-293-3002　E-mail:chiiki@t.gifu-u.jp

森の会（岐阜大学地域科学部同窓会）ホームページ
https: www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html

◀森の会ホームページに簡単にアクセスできます

教育への〈想像力〉

「教育保健学」というメガネ通して、子どもの教育現実を読み解く!

近藤（こんどう）　真庸（まさのぶ）氏（岐阜大学名誉教授）

概　　要

教師への〈想像力〉の欠如は、子どもの人権を侵害し、心に深い傷を負わせ、尊い命を奪うことさえあります。6年前（2019年）に岐阜市内の中学校で起こった「いじめ・自殺」事件はその典型的なものと言えるでしょう。

「教育が、子どものいのちを脅かし、健康を阻害する」－　こうした教育現実を変革するための処方箋を求めて、卒業研究から50年間、私が追究してきたのが「教育保健学」です。

講演では、「教育保健学」的発想による実験的・実践的研究を紹介しながら、教育への〈想像力〉を育むことの意義と方法についてお話したいと思っています。

プロフィール

地域科学部創設時（1996年10月）に教員スタッフとして、教育学部（8年間勤務）から移籍し、それ以降、定年退職（2020年3月）を迎えるまでの23年間、「〈いのちと人権〉の教育学」の視座から、専門科目（「教育学」「健康教育論」「環境教育論」「社会活動演習」など）を担当してきました。

現在は、私が理事長を務めるNPO法人が運営する「企業主導型保育施設」の園長（3年前に「保育士」資格を取得）として0～2歳児の保育にあたると共に、保育・介護職員のスキルアップとキャリアップのための研修講座の講師も務めています。

岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い

地域科学部及び地域科学研究科が更なる飛躍発展を遂げ、地域社会からの信頼と期待に応え、地域社会に貢献する責務を果たすために、ご寄附をお願いします。

この基金による支援事業は、**1．学生に対する学術交流協定校への留学支援、2．教育研究活動に対する支援、3．産学官連携及び社会貢献活動に対する支援、4．キャンパスの環境整備・充実に対する支援等**としております。多くの皆様のご協力により、本学部・研究科の教育研究活動を支援し、もって地域社会の発展に貢献しうる学生を養成するために本基金を活用させて頂きたく存じます。

つきましては、皆様には本趣旨をご理解の上、格別のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

岐阜大学地域科学部 学部長　内田　勝

【岐阜大学地域科学部基金のご協力とお願い】
URL：https://www.rs.gifu-u.ac.jp/newstopics/2025/07/04/post_131.html

新任の先生からのメッセージ

地域政策講座（経済史・都市計画史）
小林（こばやし）　啓祐（けいすけ）准教授

2024年鳥取砂丘にて

研究の出発点　今後の抱負

2025年4月に岐阜大学地域科学部に着任しました小林啓祐です。関東暮らしが長く、前任校が山口県だった私にとって、岐阜大への転任は大きなチャレンジとなります。

専門分野は日本経済史ですが、特に都市の形成過程に強く興味関心を持っています。100年前の日本は、最初の都市計画法が施行されるなど、まちづくりに注目が強く集まるようになった時代でした。私が特に興味を持ったのが、その費用負担です。どのような街をつくるか、という研究は多くあったのですが、どのようにその費用を工面するのかという研究は限られていました。今もそうですが、都市計画事業を実行に移すには多額のお金がかかります。大正期に施行された最初の都市計画法では、費用負担について受益者負担の論理を一部用いました。例えば道路を拡張する際に、その沿道住民に受益があるとして費用の一部を負担させたのです。これには多くの住民が反対しましたが、都市計画を推進したい人々は賛成に回りました。このように、一様ではない反応に興味を持ち、その研究をしようと考えたのが研究の出発点の一つと言えます。そして、関一や後藤新平といった後世に名を成した人だけではなく、名もなき人の声が社会を変えることに惹きつけられました。

上記は大学院生の時の話、つまり20年も前の話です。それから色々な仕事をさせていただき、幸せなことにまちづくりの歴史について色々な研究をし続けることができました。今回岐阜大学では「地域づくり論」と「地域産業論」を担当いたします。この文章を書いている時点（2025年６月）で、講義がはじまって2か月経ち、なんとか落ち着いて講義ができるようになりました。今後ですが、まずは岐阜県内の街並みを可能な限り見て回りたいと考えています。セミナーでもまちづくりについて研究をしていく予定ですので、まずは教員自身がしっかり勉強する姿を見せようと思います。

退職された先生　宇山　翠 准教授（2025年3月31日付）

会員だより

第24期生（合掌顕ゼミ）石原（いしはら）　富士子（ふじこ）

社会人として地域科学部に編入した時はこんなに充実した学生生活を送ることになるとは思っていませんでした。「学ぶ」ことの楽しさを存分に味わった大学生活であり、大学で過ごした時間すべてが学びであったと思っています。大学での講義を通して、社会の出来事を多角的に捉える視点を培い、私の中にあった偏った知識や思考に気づかされる日々でもありました。そして参加した６つのサークルやゼミや講義を通してたくさんの友達ができ、“フラットに人と意見を交わしたい”という入学当初の目的も達成できました。距離を感じさせず付き合っていただいた学生、先生方には感謝しかありません。

振り返ると、２度目の大学生活は今一度人生を考える大切なモラトリアムでもありました。社会経験を積んだ上でのモラトリアムのおかげで、自分が歩んできた道とは違う方向に意外な楽しい世界が広がっていることに気が付きました。将来に備えるための学びも大切ですが、心が動く学びを見つけることも大切です。大学だけがモラトリアムだと思わずに、通勤時間中でも妄想モラトリアムで世界を眺めることをおすすめします。

幸いにも大学卒業後も学ぶ機会が与えられ、９月から半年間、国際交流基金の日本語パートナーズとしてインドネシアに派遣されることになりました。そこでどんな学びを得られるか楽しみにしているところです。またインドネシアのお土産をもってみなさんに会えることを願っています。

会員だより

第25期生（山本公徳ゼミ）丸山（まるやま）　真矢（しんや）

社会人となり生活が大きく変わり始めてはや数ヶ月。学生の頃よりも毎日が目まぐるしく過ぎているように思います。岐阜大学地域科学部を卒業してから何年も経過したわけではないですが、すでに地域科学部で学んだ４年間が懐かしいです。

現在私は名古屋市総務局安全衛生課で、市の職員の公務災害などに関する業務に携わっています。正直私が今でも先のような業務を、そもそも社会人として仕事をしていることに驚いています。覚えなければならないことばかりで大変ではありますが、一方で全く新たな環境に飛び込んだため新鮮さも感じています。ここまでの社会人生活を振り返ると、地域科学部での学びが社会人生活の土台になっていると強く感じています。例えば着飾った表現にはなりますが考える習慣がついたからこそ、少しずつでも自分で次にすべきことを考えて、わからないことが生じたら自分は何が分からないかを明確にしてから質問するなどして業務を進められるようになってきていると思います。

私にとって地域科学部での４年間はかけがえのない宝物であり、卒業論文執筆の指導をしていただいたゼミの先生をはじめ、地域科学部を通して出会った方々に本当に感謝しています。地域科学部での学びは、公務員に限らずどのような道に進むにしても支えてくれる、目に見えない大切なものだと思います。今後は卒業生の一人として地域科学部同窓会の活動にも関わっていければと思いますので、よろしくお願いいたします。

第21期生（近藤真庸ゼミ）田島（たじま）　葉月（はづき）

大学生活の思い出といってすぐに思い浮かんだのは、テスト終わりに友達とミニストップのソフトクリームを食べに行ったことです。ミニストップのソフトクリームを食べると、学期の終わりを感じていました。

授業のことを振り返ると、大学の講義は、高校までとは全く違いました。私は高校の時文系だったのですが、大学では文系理系関係なく、自分の興味のある分野の学問を思う存分学ぶことが出来ました。例えば、ゼミでは教育学を学ぶ傍ら、生物学の講義を受講して、食物連鎖や繁殖のしくみなどを学びました。

このような大学生活を通して、物事を多角的な視点から見ることが出来るようになりました。

現在、岐阜の印刷会社で営業として働いていますが、大学で得たものは、社会人になってお客様とコミュニケーションを取る際にも役に立っていると感じます。

もう1つ、役に立っていることがあります。

中学・高校と部活で続けていたソフトボールを、大学になってからもサークル活動で続けていたのですが、社会人になってからも年に1回会社対抗のソフトボール大会があり、今でも続けています。

始めたころは、まさかここまで続けることになるとは思ってもいませんでしたが、大学でも続けていて良かったなと思った出来事でした。

これからも大学生活で得たものを活かして、仕事もしつつ、美味しいものを食べ、適度に運動をして、健康に暮らしていくことが私の目標です。

進路状況

学部進路

2024年度卒業生進路状況（2025年5月1日現在；カッコ内は人数で1名の場合は省略）

公務員（59）

経済産業省
厚生労働省（5）
国土交通省（5）
財務省
裁判所
岐阜県庁（13）
愛知県庁（3）
岐阜市役所（4）
各務原市役所
大垣市役所
羽島市役所
可児市役所
関市役所
美濃加茂市役所
郡上市役所
高山市役所
名古屋市役所（5）
一宮市役所（2）
豊田市役所（2）
安城市役所
犬山市役所
四日市市役所
清須市役所
津島市役所
東海市役所
尾張旭市役所
富山市役所
八百津町役場

製造業（5）

（株）大鹿印刷所
MMCリョウテック（株）
鍋屋バイテック会社
三菱自動車工業（株）
（株）バンダイ

情報通信業（11）

コグニザントジャパン（株）
コムチュア（株）
（株）CTV MID ENJIN
（株）ドコモCS東海
（株）トラックス
（株）電算システム
（株）キャッチネットワーク
（株）トヨタシステムズ
（株）システムサポート
（株）CBCラジオ
共立コンピューターサービス（株）

運輸業（4）

ANA中部空港（株）
SGホールディングス（株）
名鉄グループバスホールディングス（株）
名古屋鉄道（株）

卸・小売業（9）

栄光堂商事（株）
岡谷鋼機（株）
国分グループ本社（株）
木徳神糧（株）
オルビス（株）
ゲンキー（株）
（株）ゲオホールディングス
中部薬品（株）
岐阜トヨペット（株）

金融・保険業（2）

岐阜信用金庫（2）

専門技術サービス業（3）

ドリームスデザイン（株）
（株）ADベイシス
司法書士法人名南経営

生活関連・娯楽業（2）

（株）JTB
TBCグループ（株）

医療・福祉業（2）

岐阜県国民健康保険団体連合会（2）

複合サービス業（2）

ティー・アイ・シー協同組合
全国大学生活協同組合連合会東海ブロック

■その他のサービス業（3）

（株）リクルートオフィスサポート
（株）全日警
（株）マイナビ

教育・学生支援業（4）

学校法人神戸学園
（株）タネトネ
名進研ホールディングス（株）
（株）日立アカデミー

- 卒業生数…… 111
- 就職希望者数…… 108
- 就職決定者数…… 106
- 進学者数…… 0
- 進路未定者数…… 2
- その他…… 3

就職率 …… 98.1%
（就職決定者数÷就職希望者数）

研究科進路

2024年度修了生進路状況（2024年5月1日現在；カッコ内は人数で1名の場合は省略）

情報通信業（1）

エイ・フォース（株）

運輸業（1）

濃飛乗合自動車（株）

卸・小売（1）

（株）田和

金融（1）

（株）十六フィナンシャルグループ

サービス業（1）

AKKODisコンサルティング（株）

- 修了生数…… 13
- 就職希望者数…… 7
- 就職決定者数…… 5
- 進学者数…… 0
- 進路未定者数…… 2
- その他 ※1 …… 6

就職率 …… 71.4%
（就職決定者数÷就職希望者数）

※1 社会人修了生を含む

会長あいさつ

森の会 会長　浅井（あさい）　彰子（あきこ）

会員の皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

今年度新たに正会員となられた皆さま、ご卒業、ご修了まことにおめでとうございます。その後の新しい道をお一人おひとりが力強く歩んでいらっしゃることと思います。

3月に124人の皆さまをお迎えして、森の会の正会員は3,144人となりました。岐阜大学他学部の同窓会に比べますと小さな組織ではありますが、皆さまがさまざまな分野において活躍していらっしゃることが森の会の誇りです。

この森が豊かに成長していきますように願います。

さて、11月の大学祭の期間に合わせて、総会・講演会・親睦会を学部と共催で企画いたしました。懐かしいキャンパスで旧交を温めましょう。大勢の皆さまのご参加をお待ち申し上げております。

2025年度 森の会役員

- 会　長／浅井　彰子①
- 副会長／淺野　善信①　　都築　尚子①
- 幹事長／伊藤　健人③
- 幹　事／伊藤　雅浩①　小澤和歌子①　眞鍋　陽子①　後藤　祐治③　笠原　正博⑩　平野　純里⑪
  藤井　敬子⑪　野村　惇貴⑫　小塩　里予⑭　西野　公美⑭　伊藤　未有⑮　高須　啓太㉔
  加藤みのり㉕
- 会　計／荒瀬　修三③　　田島　佳奈⑱
- 監　査／祖父江利佳①　　川脇沙也佳⑱

（氏名の後の○の数字は、期生を表します　①･･･第1期生）

森の会 会員数 3,144名
（2025年４月１日現在）

2024年度 森の会決算報告

自　2024年 4月　1日
至　2025年 3月31日

■収入の部

（単位：円、小文字は内訳）

項　目	決　算　額
会費	890,000
懇親会費	15,000
受取利息	513
その他	0
当期収入合計	905,513
前年度繰越金	757,263
収入合計	1,662,776

項　目	収入の部	支出の部	差引計
次年度繰越金	1,662,776	1,201,187	461,589

■資産保管状況

項　目	現　在　高
現金	0
普通預金	
十六銀行	461,589
ゆうちょ銀行	0
定期預金	
十六銀行	7,000,000
合計	7,461,589

■支出の部

（単位：円、小文字は内訳）

項　目	決　算　額
事業費	604,271
会報等印刷費	215,132
会報等郵送費	289,139
卒業・修了祝会祝い金	100,000
事務費	459,018
人件費	410,100
事務用品費	33,806
通信費	10,900
その他	4,212
会議費	48,960
諸会費	0
役員会雑費	20,500
交通費	28,460
総会費	88,938
総会経費	5,090
懇親会経費	61,574
講演会	22,274
予備費	0
当期支出合計	1,201,187
当期予備費合計	0
支出合計	1,201,187

森の会では、みなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。
連絡先等に変更があった場合は、メールにてご連絡ください。

連絡先

森の会（岐阜大学地域科学部同窓会）
〒501-1193
岐阜市柳戸1番1　岐阜大学地域科学部内
TEL：058-293-3021　FAX：058-293-3008
E-mail：mori2001@t.gifu-u.ac.jp
森の会ホームページ https:// www.rs.gifu-u.ac.jp/alumni.html
事務局業務日（火・水・金　9:00~15:00）

森の会アドレスにアクセスできます